

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	130609		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。	
事務事業名	配食サービス事業		担当部局・課	健康福祉部 高年福祉課
事業内容	栄養のバランスのとれた調理をし、居宅を訪問して定期的に提供するとともに、利用者の安否を確認し、健康状態に異常があったときは関係機関への連絡を行う。		事業開始(予定)年度	
			平成12年度	
			事業終了(予定)年度	
			—	
この事業の 上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現	
		項目	きめ細かな地域福祉の推進	
		施策	高齢者の生活支援	
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。			
事業の目的	在宅の要援護高齢者及びひとり暮らし高齢者に対する介護予防・生活支援を行い、高齢者の自立と生活の質の確保し、地域の中で自立して快適な生活を営むことができるよう、その在宅生活を支援する。		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 特別会計 (項) (目)
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
	事業費	14,337千円	財源内訳	
			国・県補助金等	10,337千円
			市 債	—
			その他(使用料等)	—
			一般財源(市税等)	4,000千円
	投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
	人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
	経費合計	15,194千円		
	事業費	11,570千円	財源内訳	
国・県補助金等	8,677千円			
市 債	—			
その他(使用料等)	—			
一般財源(市税等)	2,893千円			
投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		
人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		
経費合計	12,427千円			
活動指標	指標名(単位)	延べ宅配数（件）		計画と実績
	意味・算式等	延べ宅配数		
	年度	H17年度	H18年度	
	計画値	—	47,000	
	実績値	57,632		

評価結果	A
	上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。